

居候三件報告致候

記

海軍中尉(我死ノ階級)以下全シ

01614

昭和二十年六月二十八日米南ボルネオタラカン島及ブニール島間海上ニ於テ海軍艦艇ヲ機銃掃射ヲ受ケ、其後行方不明ニ成リ、漂流中、右、同中尉ト行動ヲ共に居リタル者、同ノ時還者、 (三工曹)ノ活ニレテ又モロタイニ輸送セラル者ノ海軍名簿ニ記載ニ非サリ、處ヲ考ヘ戦死ト認賞セラル可ト思フス、我死ノ可能性九九%

海軍中尉

01615

昭和二十年六月六日南ボルネオタラカン島青葉山附近海行偵察ニ出発ノ際第三番陣地附近ニ於テ頭部貫通銃創ヲ受ケ、戦死

6337

92-12

海軍兵曹長

[Redacted]

中尉

[Redacted]

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

海軍兵曹長

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

01616

昭和三年

六月二日

南ボルネオ

タラカン島

一三高地前

敵陣地夜

襲撃隊

敵自動銃

三挺

戦死

頭部

胸部

貫通銃創

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

海軍主計中尉

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

昭和三年六月二日南ボルネオタラカン島一三高地前敵陣地夜襲撃隊敵自動銃三挺戦死頭部胸部貫通銃創

16891

6338

25-13

010

海軍少尉

昭和三年六月二十九日 南浦ルオオウカノ島ニ於テ海軍捕虜
トナリモロタイニ輸送セラル、既ニ帰還済ナリ

海軍衛生兵曹長

少尉ニ全ク同じ

尚遺骨遺品ハ全ク無之、但シ遺骨ノ代リニモト思ヒ、タカモ島ノ砂ヲ
毎日海軍燃料廠カラシ支廠、我兵者一月ノ分トシテ、米、紙、日用品等
真下向員ニ遺骨名簿ト共ニ提出、預メ置キ候

(終)

生存者
戰死者
確
認
報
告

報告者の所轄(部隊)

第五十一 警備隊

報告者の實氏名

二 養 育

報は石の本家 及現住け

祖考

以豐宜藏氏

名

入郭尋子云身地

生 好

1500	1500
------	------

現

或

魂

21/11/19

卷之六

張

6
20

Figure 1

不

卷之四

3m (upst)



4

四洲藥房

187

10

のちの事とて
甘き屋敷

乙

現況不明者究明調書 (調査期日 7月/2日)

※ 名簿索引	部	隊	等級・身分	氏名
一五八	60	五	警二曹	[REDACTED]
姓	出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍屬は原姓元
	[REDACTED]	二復・横・吳・佐・(○)	千島	微

中ノ人 第一號
 20-6 頃 白洋丸にて引揚り際同船沈没の際戦死 (確黄)

舞鶴地方復員残務處理部

家	住	所	籍	氏名
族	住	所	部隊等級	氏名
復員者	[REDACTED]		五-警二曹	[REDACTED]

世話課 白洋丸と共に海没した者と認む

所管復員局 戦死として處理する

※ 七月三十一日

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆で可) 舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號より三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通
 調査世話課へ一通 (復員局經由) } 送付する
4. 案欄は舞復人で記入する

120

②

現況不明者究明調書

(調査期日 9月3日 場所 長岡)

三三三 號	姓名索引	部	隊	等級・身分	氏名	
	60 頁 51 警 二 常				[REDACTED]	
	出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍屬は派遣元		
	[REDACTED]	二復・横・吳・佐(舞)				
舞鶴地方復員残務處理部	申告事項	20.6.18 博愛丸で戦死				
	申告者	家族	住所	籍	氏名	
	復員者	住所	部隊等級	氏名		
		[REDACTED]	51 警 少尉	[REDACTED]		
※ 十月 日	調査官	世話課 調査世話課へ一通 所管復員局へ一通 同 世話課へ一通 (復員局経由)				
	所見	舞鶴地方復員残務處理部				

1. 本調査は甲號一、乙號三を調査する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可)舞鶴人に送付する
3. 乙號……舞鶴人にて甲號により三通調査
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通 (復員局経由) } 送付する
4. ※欄は舞鶴人で記入する

120-11

①

現況不明者究明調書

(調査期日 新 月 日 場所 新 町)

※	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏	名
二	10 頁	5/	警	二 機 曹		
二	出身府縣	所管復員局	方	面	入籍番號・軍属は元	
二		二 復	横	吳	佐	千 島
二	中 申 人 告 第 一 項 第 一 号 市 入 部 者 住 所 姓 氏 名 住 所 部隊等級 氏 名 上 機 曹					
※	調査官	世 話 課	申 告 事 項 の 通 理 可 と す			
九	日	所 見	舞鶴地方復員残務處理部			

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三通調製
 - 調査世話課へ一通
 - 所管復員局へ一通
 - 同 世話課へ一通（復員局經由）
 } 送付する
4. ※圖は舞復人で記入する

118

元海軍軍人現況不明者調書

登録番號 16P

長崎 28

部隊	所轄(詳今年月日)	等	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
二、内地出陣の時及場所(昭和十一年十月一日)	一、佐世保人事業務課資料	一、水	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、世話(科)資料	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所
三、進出要項	三、家族(身寄)承知事項	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	住所

終 結 時 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	組 乗 有 便 乗 便		船 艦 に よ る 事 故		現 況 不 明 者 と 同 一 行 動 の 別 動 行		行 動 の 戦 斗 状 況	
		五、事故の原因及びその年月日 (立廻、潜水艦、砲撃) 六、事故発生時の位置及び被害の状況 七、救済の状況		一、艦船名 江ノ川丸 二、行 先 香港 三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 (ロ) 寄港地及び年月日 四、便乗者の所轄、軍人、軍服別数 五、乗客の状況		六、終戦時の状況 (イ) 所在地 (ロ) 隊員数 (ハ) 傷病者数 (ニ) 集結又は收容地 七、終戦後の状況 (イ) 衛生 (ロ) 給食 (ハ) 最 終 (ニ) 残留者 八、歸還の状況 (イ) 開始 (ロ) 最 終 (ハ) 残留者		四、現地に到着時及び捕虜(戦死者)の状況 五、交戦(被害)の状況 (イ) 空 襲 (ロ) 陸 戦	
(公)	佐世保人事業務課にて判定	住 思 は れ る 者 の 氏 名		本 人 の 消 息 を よ く 知 つ て ゐ る と 思 は れ る 者 の 氏 名		そ の 他 親 戚 上 等 の 氏 名		そ の 他 親 戚 上 等 の 氏 名	
(明)		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	
(不)	世話課(科)にて判定	昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	
(生)		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日		昭 和 年 月 日	
員	員	員		員		員		員	

6927
昭和8月1日
佐世保人事業務課にて判定
世話課(科)にて判定

大分

行の隊部 一、編成の時期及び場所（昭和 年 月 日 於） 二、内地出撃の時期及び場所（昭和 年 月 日 於） 三、進出要領		所屬部隊に關するもの （此以上詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載すること）		現況不明者個人に關するもの 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日		登記番号	
報告者 昭和 年 月 日	内地歸還年月日 昭和 年 月 日	部 隊 等 級 氏 名 入籍番號	現 住 所	事項 一、位階保人事業務課資料 二、世帯課（利）資料 三、家族（身寄）承知事項	既知 一、位階保人事業務課資料 二、世帯課（利）資料 三、家族（身寄）承知事項	留守擔當者 級 氏 名 縣 市郡 村町大字 住 所	所屬（詳今年月日） 南西陸 等 級 氏 名 生年月日 入籍番號 本 籍 地
元海軍軍人現況不明者調書			南西陸 南西陸 南西陸 南西陸 南西陸 南西陸				

元海軍軍人現況不明者調書

52-41

終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	個 人 の 事 務		船 上 の 事 務		戦 況 の 事 務		戦 況 の 事 務	
		五、戦況（被害）の状況	六、終戦時の状況	七、終戦後の状況	八、歸還の状況	一、艦船名	二、行動の概要	三、行動の概要	四、出港地及び年月日
(公)	佐世保人事務課にて判定	(公)	佐世保人事務課にて判定	(公)	佐世保人事務課にて判定	(公)	佐世保人事務課にて判定	(公)	佐世保人事務課にて判定
(明)		(明)		(明)		(明)		(明)	
(不)		(不)		(不)		(不)		(不)	
(生)		(生)		(生)		(生)		(生)	
復員		復員		復員		復員		復員	

69041

本 人 未 回	現 在 本 人 不 明 時 間 考 察 現 在 本 人 不 明 時 間 考 察	申 告 者
死 後 現 在 狀 況	本 籍 地 （ 現 住 所 ）	現 住 所
昭 和 三 十 年 七 月 下 旬	昭 和 三 十 年 七 月 下 旬	昭 和 三 十 年 七 月 下 旬
神 合 三 科 地 長	神 合 三 科 地 長	神 合 三 科 地 長

56-29

6348

→ 上の骨に脊髄も入っている

本入すといふ最
後に致つたとい
ふは此論より
大なる恩恵を
つねと判明する

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(一) 本表は支那の内務市下山手町異地方復興事務処理部復興事業部が所屬關係必す
 送送して下さる
 (二) 知得事項は雅事入をも結構ですかゝ縮大となく記註して下さる
 (三) 消息は破紙よりいかに得ん知得事項とあるも必ず記註して下さる